

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号 66-1441

施設名 府中緑町学びの保育園

施設所在地 府中市緑町1-6-3

法人名 社会福祉法人育木会

1. 活動のテーマ

<テーマ>想像力を膨らませ、友達とイメージを共有しながら遊ぶ楽しみを感じる。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

ままごと遊びが好きで、見立て遊びが上手な子ども達が多かったため、既製品のままごとだけでなく、チェーンリングやよりリアルに近い食器具などを使うことで遊びの幅が広がり想像力も広がってくると思い設定した。

2. 活動スケジュール

R7年10月～R8年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

チェーンリング、フェルト、食器具、冷蔵庫、レンジ、赤ちゃん人形を充実させておままごとコーナーに設置し遊びを展開させていった。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>おままごとの玩具を既製品の物からチェーンリングやフェルトに切り替えて遊びを見守った。また、冷蔵庫など実際のキッチンにあるような物も配置した。はじめは戸惑う姿もあったが段々と見立てて遊ぶことを楽しむようになっていき想像力が広がっていったように感じられた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

チェーンリングとフェルトを使って海苔巻きを作って友だち同士でふるまいパーティー遊びをして楽しむ子どもの姿が多くなり、子ども同士の関りも増えていった。家庭で作ったことのあるゼリーやプリンを思い出してお皿を型に見立てて冷蔵庫の玩具を使い作る様子を見せてくれた。家庭で経験したことを遊びでアウトプットして楽しんでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

始めは野菜や果物などの形をしていなかった事で遊びに戸惑う姿があったが、段々と見立てて遊ぶことを楽しむ様になっていった。色によって味や食材を変えて楽しんだり、女子が多いクラスということもあってか、盛り付けにこだわるようになり虹の様に綺麗にお皿に並べたりする様子もあり、こうした新しい遊びかたに発展していったのは予想外だった。また、冷蔵庫やレンジ、人形等新しい玩具が増えたことで子ども達もより家庭と近い環境の設定に喜んで遊びこむ様子があった。